

国際生物多様性年国内委員会の設立について

1. 概要

2010年は国連の定めた国際生物多様性年であることから、国連より加盟各国に対し、「各界の代表者からなる国際年事業のための国内委員会設立」の要請があったところ。

我が国はCOP10議長国であることから、この要請を踏まえ、生物多様性に対する社会の認識を高めるとともに、生物多様性の保全と持続可能な利用に資する活動の実施及び促進を行うため、平成22年1月25日、「国際生物多様性年国内委員会」を設立した。

(1) 国際生物多様性年国内委員会の構成組織

- ①地球生きもの委員会（*）：意思決定組織
 - ②地球生きものプロジェクトチーム：
必要に応じ、記念事業ごとに設立する実施組織
 - ③地球生きものサポーター：協賛、協力団体等
 - ④事務局：国内委員会組織の運営、関係者の連絡調整等
- *地球生きもの委員会の下に幹事会を設け、個別の事項等に関し事務的な検討を行う。

(2) 国内委員会の活動

- ①記念行事の開催及び各種記念活動の実施支援、促進
- ②生物多様性に関連する理解、連携等の促進

(3) その他

国内委員会の設立日は第1回地球生きもの委員会開催日の平成22年1月25日とする。また、国際年以降も国内の生物多様性に関する普及広報実施組織としての存続を検討するものとする。

2. 「第1回地球生きもの委員会」の開催結果について

日時：平成22年1月25日（月） 11:30～12:35

場所：帝国ホテル2階 「蘭」の間

結果：地球生きもの委員会の委員長に御手洗日本経団連会長、委員長代理に涌井桐蔭横浜大学特任教授（当時）を選出した。また、国内委員会の役割及び活動方針を議論するとともに、今後、幹事会において具体的な活動内容を検討し、活動を実施していくことを確認した。